

高温で登熟進む！刈り遅れに注意！

－ ここがポイント －

- 1 籾の黄化率を確認し、必ず適期（黄化率 85～90%）に刈り取る。
- 2 刈り遅れは、胴割米や基部未熟粒が増加して品質低下を招くので厳禁。
- 3 適正な乾燥・調製で高品質米に仕上げ、人為的ミスにより格落ちさせない。

- 1 今後の天気（8月18日から9月17日までの見通し：新潟地方气象台8/16発表）
 気温が高い確率が60%となっており、特に前半の気温はかなり高くなる可能性がある。

・気温	： 低い 確率 10%	平年並の確率 30%	高い確率 60%
・降水量	： 少ない 確率 30%	平年並の確率 40%	多い 確率 30%
・日照時間	： 少ない 確率 30%	平年並の確率 40%	多い 確率 30%

2 主な品種の収穫適期のめやす（8月20日現在）

- (1) 収穫適期は下表を参考に、籾の黄化率を確認して決める。
- (2) 高温年は胴割粒や基部未熟粒が発生しやすいので、収穫適期の中で早めに収穫する。

表 主要品種の積算日平均気温による収穫適期のめやす

品種	出穂期	収穫適期(出穂期後の 日平均気温の積算値)	収穫適期（アメダス地点別）		
			新潟	新津	
新潟次郎	7月19日	950～1,000℃	8/24～25	8/24～26	
早生	五百万石	7月22日	8/26～28	8/27～29	
	わたぼうし	7月24日	8/28～30	8/30～9/1	
	ゆきん子舞	7月25日	925～975℃	8/29～31	8/30～9/1
	こしいぶき	7月26日	8/30～9/1	8/31～9/2	
中生	こがねもち	7月30日	9/5～7	9/6～8	
	コシヒカリ	8月3日	950～1,000℃	9/10～12	9/11～13
	コシヒカリ(5/10植)	8月4日	9/11～13	9/12～15	
晩生	新之助	8月11日	1,050～1,100℃	9/24～26	9/26～28

注) 収穫適期は8月20日までは実測値、8月21日以降は平年値を用いて計算した。

3 適正な乾燥・調製

- (1) 毎時乾燥水分が0.8%を超えると胴割れが発生しやすいので、適正な乾燥速度を守る。
- (2) 立毛胴割れが見られる場合や収穫時の籾水分が20%以下の場合は、通常の送風温度より5～10℃低く設定し毎時乾燥水分を0.5%以下として胴割米の発生を防止する。
- (3) 籾すり機のロール間隔は0.8～1.2mm程度とし、脱ぶ率が80～85%になるように調節する。
- (4) 米選は1.85mm以上（酒米は2.0mm以上）のふるい目を使用し、適正な流量で調製する。

熱中症に注意！ こまめに水分と休憩をとりましょう！